

高進路だより

校訓：誠実・自主・創造

第13号 2025年 4月 15日(火)

宜野湾高等学校進路指導部(企画)

模試を受けた後は・・・

先週のスタディーサポートよく頑張りました。1年生は高校生活がスタートして4日目に模試があることに驚いていることでしょうか。

2年生、3年生はスタディチャージを活用して、模試に挑戦することができましたか？何も対策せずに模試に臨みませんでしたか？

模試を終えて、受けたことに解放されているところだと思いますが、**模試はやりっぱなしにはしてほしくない！**

模試は復習までして初めて学習効果が出るもの。今回は先輩たちが実践してきた、**模試を復習するための方法を伝授！！**

模試ノートを作って取り組んでみよう！！

① 模試は最適な学習ツール

模試は高校生の学習状況や大学入試を徹底的に分析し、時期ごとに重要な問題を厳選して出題している。つまり、**結果をふまえて反省点を分析し、弱点を補完するのに最適なツール。**やりっぱなしだった人も、この機会に模試の復習をしてレベルアップをめざそう！

② 模試を終えたら必ず・・・

自己採点をしましょう。今回の模試の各教科の解答冊子1ページ目に正答が示されていて、正答率を計算する式が示されているので、まずは**今回の模試の正答率がどれぐらいなのか把握**してみましょう。代表的な大学入学共通テストを終えた翌日には自己採点を行います。自己採点の重要性は、自分がこのように解答したという得点状況と結果が返ってきたときの実際の得点の違いを比較することが重要。よくあるあるの話で、**このように解答(マーク)したつもりなのに、実際の結果が違う解答(マーク)をしていた**というケースもあります。毎回の模試の後には**自己採点、結果が届いたときに自己採点と結果の違いを把握**することに努めるのは大事！！

③ 3段階の問題仕分け

模試の目的は「何ができて」「何ができていないのか」を測定すること。受験後は、まだ記憶の新しいうちに自己採点をして、**どの分野の苦手手を克服すべきか確認**しよう。あたりまえのようなことだが、これに取り組んでいる人は少ないと思うよ。

自己採点で「自己の理解度の印」をつけていました。「○できた」「△悩んだが解けた」「×勘で答えた、解けなかった」の3段階に仕分けることで、復習の際に何ができていないのか明確になり、的確に自分の苦手分野を抽出することができました。

④ 模試ノートを作って復習

間違えた問題をノートにまとめるだけでも、自分の苦手な単元や問題の傾向がわかるようになりました。さらに、模試ノートの問題を何度も解き直すようにしました。

模試ノートは自分の間違ったところや、まだ覚えられていないところだけをまとめているので、繰り返し見直すことで同じ間違いをしなくなりました。

模試後にできなかった問題をコピーしてノートに貼り付け、反対側のページに解法を書いていました。模試ごとに苦手な問題を模試ノートに蓄積していくので、自分専用の「オリジナル参考書」になっていました。

⑤ 個人成績表が返ってきたら、もう一度復習してみる

自分専用の分析やメッセージを読んで、どこを直すべきか、模試直後の復習の際に気付かなかった観点はないかを確認しよう。個人成績表は1ヶ月後ぐらい経過しているので、このタイミングで、もう一度問題復習してみることで、さらに実力をつけることに繋がると思います。